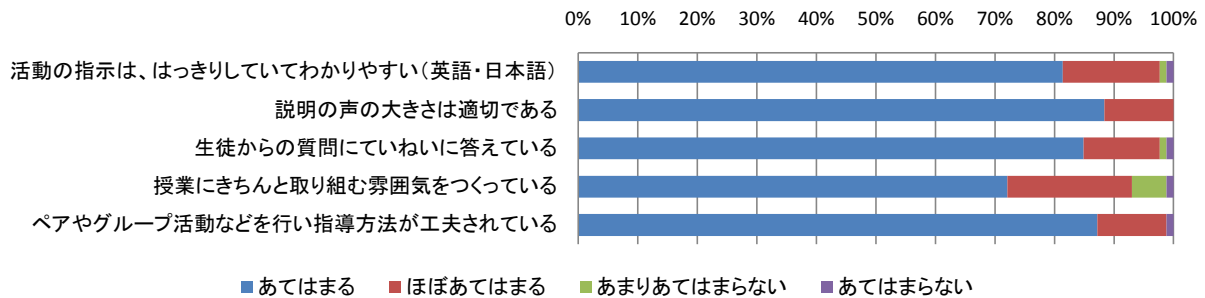


# H30年度 第2学期 生徒授業評価アンケートより

教科	<b>英語</b>	重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の充実</li> <li>・読み解く力の育成</li> </ul>
----	-----------	------	---

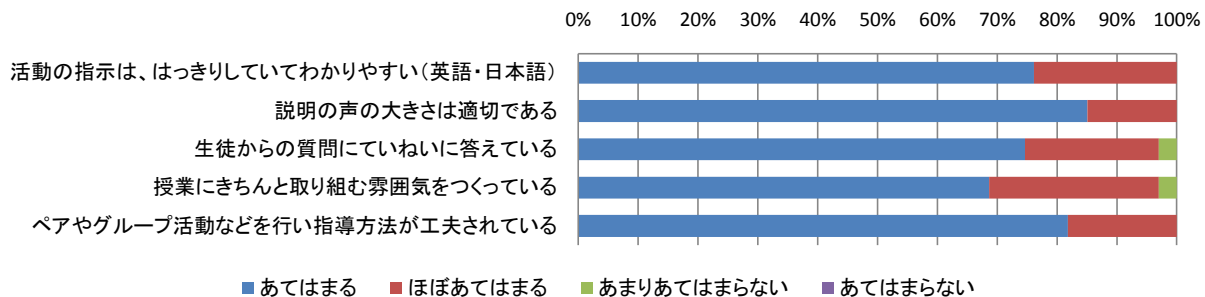
学習指導に関する現状と課題(二学期・生徒による授業評価アンケートより)

## 1年 英語



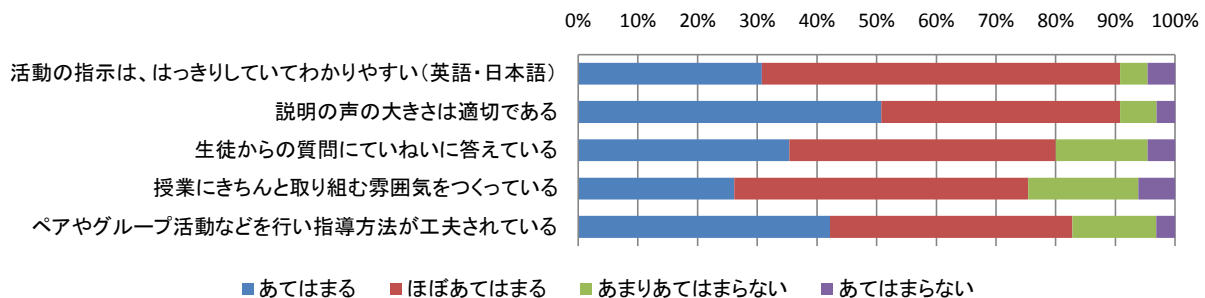
**分析** 1学期と比較して大きく課題に挙げたのは、「授業にきちんと取り組む雰囲気を作っているか」である。2学期は暗唱・音読のテストを、他の生徒の前で発表するのではなく、教員に対して生徒ひとりずつや、ペアで発表する形に変更した。そのために、チェックを受けている生徒以外の学習規律を整えることへの教員の意識が甘かったと考える。3学期は、チェックを受ける列に並んでいる生徒の待ち方や、チェックが終わった生徒が取り組む課題を明確に指示し、改善を図る。

## 2年 英語



**分析** 「あてはまる・ほぼあてはまる」の回答で全項目90%を超えており、生徒が意欲的に授業に参加できていることがわかる。「あまりあてはまらない」の回答については、1学期と比較すると3項目においては改善した。しかし「質問に丁寧に答えている」と「授業にきちんと取り組む雰囲気をつくっている」の2項目に関してはまだ課題がある。2年生後半に入り、3年生進級や受験へ向けて学力に不安を感じ始めている生徒もいると感じる。学習につまずきをかんじている生徒の声を聞き、励ませるように授業内・外での声掛けを積極的に行っていくと共に、授業ではペア・グループワークを取り入れ、生徒同士が教え合い、学び合いやすい学習環境づくりを心掛けていく。

## 3年 英語



**分析** チャイム着席の励行・授業用具の準備の徹底から、授業規律を徹底させることを、今一度確認する。また、授業の最初の帯活動にリスニング活動を入れることで、音や話を聴く状態を整備し授業全体がより良い状態になるようにする。2学期後半では扱う文法材料(後置修飾)が運用を目標としないことから、学習の形態が固定化されていた。3学期は個人を中心とした学習形態を取りながら、学習材料に工夫を加えていく。